

特異点 K

～海魔触手に占拠された孤島～

謎の大量発生とともにとある孤島を覆いつくした海魔の群れ。特異点解決のために触手まみれの孤島に送り込まれたサーヴァント達の運命は…

- 基本CG 9枚
- 差分 174枚
- テキスト/効果ありなし収録



あつあつ...
この辺りはこれで
制圧完了ですかね

とほいつても
何やらわけありな
特異点らしいですから
油断は禁物ですね

どぶ

たぶ

グ
ツ
ヤ



おやあ？
まだ息があつたんですか？
しぶといですねえ

まあここにはもう
用はありませんし
さっさとどめを刺して
先に進むとしますか

ク
ク

ク
ク





ん
びび
て

!?

カ
ン
ン
ン

カ
ン
ン

カ
ン
ン

カ
ン
ン

カ
ン
ン

けほっけほっ…
もう…何ですか急に
きつたないですね！

ケ
ケ
ケ



って...あら？
まだ動けたんですか
この子達...

流石に小島二つ
占拠するだけの
ことはある生命力ですなえ

ハル
ハル
ハル

ハル
ハル
ハル

ハル
ハル
ハル



それで？まさかこれで
このBBちゃんを捕えた
つもりですかあ？

……んっ……全く……
物わがりの悪い子には
お仕置が必要ですねえ

（それよりも……
少し体が変……ですわね……
体の奥底から熱が
こみあげて……あつ……
どんどん……熱く……）

ピョッ

はあ
はあ

ピョッ

ギィッ

ギィッ

グッ

ムズッ

ムズッ



んんっ!?

なつ...
急に乳首と
クリトリスが!

びびっ

ぐりゅ

ぐりゅ

グ

びび



あつーちよつとー！
そんな汚らわしいもので
触らなひでくれますよ
このっ……

んんん
びんびん
て

んんん
げんげん

えりうぞー！
体に力が入らない！！

んんん
ぽんぽん



これ…もしかして
さつき吹き付けられた
霧状の毒か何かのせい？

全く…低級魔獣らしい
悪趣味さですね！

ムム
びびっ
びびっ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

とにかく一度
抜け出して態勢を…！！

アッ…

はりりおのこ

はりりおのこ
はりりおのこ

はりりおのこ

はりりおのこ

はりりおのこ

はりりおのこ



この……これ！
まずいです！
乳首もクリトリスも
馬鹿みたいに感度が
上がってて……！

ビクッ
ビクッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

やわらかいイボイボ触手で
満遍なく擦られたら
どんどん気持ちよ……！

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ビクッ
ビクッ

はらうっ...そんな!!
いきそう!!こんな簡単に...
触手なんかにはイカされるなんて!

だめ!抑えられない!
イクイクイクウ!

ビクビクビクビク
ビクビクビクビク
ビクビクビクビク

ゴッゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ビクビク
ビクビク

ビクビク
ビクビク

グッグッ

グッグッ
グッグッ

グッグッ
グッグッ

ビクビク
ビクビク

!?

ちよ...待つ...

いつ...今イッたばかりっ!

待って!

止まっっっ...

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

っ!





ビッパッ
ビッパッ
ビッパッ

♡♡♡♡♡
♡♡♡

ガッガッ

ガッガッ

ガッガッ
ガッガッ

ビッパッ
ビッパッ



びびび

びびび

びびび

びびび



ギン

どうやら少し
気を失っていた
みたいですね

でも…体の自由は
戻りつつありますし
今のうちに抜け出す算段を
立ててしまいまじょうか

は

か



またおかしなものを...
それに...

わざわざ
私の意識が戻った
タイミングで
出てくるなんて

ズン

ググ

ググ



やだーこれ...
振動して...!

はっ...
早く抜け出さないと...
また...!

ビーン

ビーン

ググ

ビーン

ググ



電マ触手で
敏感ま○こイクラッ!

1000000

ビーン

ビーン

ビーン

ビーン

ゴッ

ガッ

ガッ



うっ...
また...こんな簡単な...

さっきから
イクたびに
体中の感度が
上がっている気が...

ビーン

4

4...
4...

はー

はー

ビーン



グイッ

きゅん
いやっ日離しなぞっ！
それ以上はほんとに
許しませんよ！

ドキッ

10.0.1



んん〜っ！
だめ！それだけは！

体中敏感になつてる
今の状態で
挿れられたりしたら〜！

びびっ

ふちゅんっ

ズル
ズル
ズル

ググッ



入ってくるぅ!!
どんどん抵抗力
そぎ落とされちゃう!!

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ズッ
ズッ
ズッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ



はあ...はあ...
こんな繁殖しか能のない
魔獣なんかは後れを取るなんて！

そんなの絶対
認められません！
流されちゃダメ！
ここは体の自由が
完全に戻るまで
耐えて！何とか
反撃のチャンスを！

ビュッ
ビュッ
はっ
はっ

ビュッ
ビュッ

グッ
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



乳首に吸ッ付ッスッ

ビクッ

んあつ!!
なんですかこれ!!
また違う触手が!!

グワッ
グワッ
グワッ
グワッ

グワッ



ひゅらっうらっ！
ピンピンに勃起した乳首
そんな乱暴に吸われたら
感じすぎちゃいます！

くっ…悔しいのは…
耐えられない！
乳首もアソコも
感度MAXにされて…
こんなの無理！

イクイクイク！
イっっちゃうらっ！

ビクビク
ビクビク
ビクビク

ビク
ビク
ビク

ビク
ビク
ビク

ガ
ガ
ガ

ガ
ガ
ガ

ビク
ビク
ビク

ガ
ガ
ガ

ガ
ガ



くさくさおもしろい

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ



はー!!

意識：飛ぶ...!!
おかしく...
なっちゃいますわ...

ピグッ

ピグッ

はー!!

はー!!

ピグッ

ピグッ

グッ

はー!!

また気を失っている間に
今度はこんな
恥ずかしいポーズを……

加えてこんな
下品なポーズも
Eh なんだ……

びびり
びびり
びびり





ドキッ

「また……！
今度はいつた何を……！」

ズルル

ズルル



えいっ！
何ですかこれ！！

おちんちんが気持ちよくなるのにつれて
体内の魔力が勝手に
おちんちんに集まっていく！！

「体おちんちんが...!!」

ぐわんぐわん

どどど
どどど
どどど

ぐわんぐわん

かた

かた

うんうんうん
うんうんうんうんうんうん

一度おちんちんを
引っこ抜いて
魔力の循環を
正常に戻さなきゃ!

ズ
ルルルル...

全く下品なうえに
厄介なおちんちんですね！

でもここは落ち着いで…
できる限りおちんちんに
刺激がいかないよう
慎重に抜かなくちゃ…



このおちんちんは
射精すれば間違いなく
私の魔力を放出していく
この魔獣たちもそれを
狙っているのだしよう……

だからっ……
射精だけは我慢……
しないと……っ!

くっ……ふっ……
けど……一番敏感なところが
引っかかっているせいで……
抜こうとするほど刺激が……!

どんどん魔力が
おちんちんに
集まっちゃおう……!

ビクッ
ビクッ

アッ
アッ
アッ

グッ
グッ
グッ

グイッ

グイッ

キョッ
キョッ
キョッ

アッ
アッ



んっ?
何?急に足から
力が抜けて...!

ぶるる

かた

びしょ
びしょ
びしょ

かた



えっ！もうそーやだ！
こゝ腰が勝手に！
ズンズンズン

ズンズンズンズンズン
ズンズンズンズンズン

ビクビク
ビクビク

ズンズン

カッ

カッ

カッ
カッ
カッ

ズンズン
ズンズン

そんなっ！まさか
魔力が集まったおちんちんに
下半身の支配権が奪われている！

いやっ……この
完全無欠のBBちゃんが
おちんちんなんかだ！

だめだめだめだめえ！
そんなビダビダに擦りつけたら
出ちゃう！射精しちゃう！

イクイクイっっちゃううう！

ビクッ

ビクッ

ブッ
ブッ

ブッ
ブッ

か

か

か

ズ
ズ

ズ
ズ

はあ...はあ...
このお!好き勝手に
人の魔力を...!!

けどまだ魔力残量には
余裕があります...
おちんちんから体の自由を
取り戻した今のうちに...!!

ぷるっ

びびり
びびり
びびり



ほあっ!!

やめっ!そこは!
カリ首はダメです!

いったばかりの
敏感おちんちんの
一番弱いトコロ
くりくりしたらあ……!



くわうらん!!
また魔力がおちんちんに
集まってきちゃう!

こんな低級魔獣の
舌先一つに手玉に
とられるなんて...!

くっ...屈辱ですら...!!
絶対...絶対に許しま...



はーっ...はーっ...
おちんちんの魔力射精
気持ちよすぎて...

私...魔獣たちの
魔力タンクに
なっっちゃいますら...



ぶるっ

びびり

びびり

びびり

びびり

どっ

どっ

















グ
グ
グ

これは…
思ったより面倒だな

トリムマウとも
はぐれてしまったし
1人で抜け出すのは
手間がかりそうだ…

グ
グ
グ

グ
グ
グ



ドキッ

うわっー！
そんなものを
近づけるな！

アッ



ビクッ

んあぁっ！
なっ何をしてる！
そんなところ
擦っちゃだめだ！

ビクッ

ダッ
ダッ
ダッ
ダッ



ぶい

るるる

んんん！
ちよつと待て！
なんで…こんな時に…
急におしっこが
したくなるなんて…！

この不快感を
紛らわすために先ほど
飲んだ紅茶のせいかな？

ぶる

キエツ

ぬち

ぬち

ググ

ギ

ツ



お...おやだ...
こんな低級魔獣に責められて
おしっこ漏らしちゃうなんて

が...我慢する私!
イっちゃだめだ!

今イったら...
おしっこが...

だめ...
だめ...
だめ...

ビーン

グーン
グーン
グーン

ビーン

ビーン

ビーン

フーン

グーン



ビュッ
ビュッ

はあっん！

イッ…イッ！
イッちやう！

ビュッ
ビュッ

カッ
カッ

ビュッ
ビュッ



ぶるっ

ぶるっ

ッ

ッ

ぶるっ
くっ 漏れちゃう！
足が閉じられなから
余計にアソコに
力が入らない！

もも...
おしり...
おしり...
おしり...

ビッ

ぶ

ビッ

るっ

じわ...

4
イヤ...



ぷる

はー...はー...
う...ず...
私としたことが...
なんて失態だ...

はー

はー

びしょ

ぷる

びしょ

びしょ...

びしょ



ドキッ

うあああ!!
やっやめる!!
それ以上は許さなからぞ!!

ズイッ

んんっ…なんだ？
そんなクロボスクな
物を近づけるな！
気色悪い！





スッ

スッ

ホッ

セッ

ぐ……この……
調子に乗って！
だが今のうちに
新しい礼装の準備を……！！

ツツ
ツツ
ツツ

グ
グ

グ
グ

グ
グ
グ





「アッ、アッ、アッ」

「奥まで」

「アッ、アッ」

「アッ、アッ、アッ、アッ」



うぐっだめだ...
上も下も激しすぎて
集中力が...!

悔しらの...
体が言わぬ言わぬ
きかなら...
の...

ビーン

ビーン

ツメ

ツメ

ツメ

ビーン

ツメ

ツメ

ビーン

ツメ



ヒッ
フッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ
急に激しく脈打って...
ま...まさか!

やだ!! 抜いてー!!
抜いてくれ!

ヒッ
ヒッ

ドッ

ドッ
ドッ

ヒッ
ヒッ



ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ



ヒッパッ

おん...おん...おん...おん...
おん...おん...おん...おん...

なんてもうた...
なんて様だ...

ヒッパッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ド
ド

ド...

ヒッ
ヒッ

こんなものか：
マスターも深部までは立ち入れぬ
厄介な特異点と聞いていたが

数が異常なだけで
雑魚ばかりではないか

ギ
ィ
ッ

ク
ィ
ッ
ッ
ッ



どうした？
まだ抵抗する気力があるのなら
せめてお前たちの親玉を
呼んで来てほしいものだが

その方が探す手間が
省けるのでな

ビュッ
ビュッ

グ
グ
グ

ゴボッ

っ!?
なんだ? 痺気?
こんなもの...



メ

ファ

ク

...



また隠れてしまったのか
...んね...
...

ギョルッ

ギョルッ

ギョルッ

ギョルッ

ふん…
不意打ちのつもりか？
ござかしら

はあ

はあ
はあ
はあ

この程度で
余を出し抜いたとでも？

（それにしても…なんだ？
体が急に火照って…
んっ…それにこの感じは…）

ドク

ドク



!?

なっ何だ!?

ヒッヒッ

ヒッ

ヒッ

急に乳首と陰核が!
それにぐっ!
四肢に力が入らない!

まさか先ほどの
痺気の効果か!

キッ

キッ

ヒッヒッ

グッ





いんいんいんいん!!

ビクビクビク

いんいん

いんいん

いんいんいんいん

いんいんいんいん

いんいんいんいん

いんいんいんいん

いんいんいんいん

いんいんいんいん

なんだこれは!!
馬鹿な!こんな...!
乳首と陰核を舌で
転がされるだけで...

余が嬌声を
上げるなど...



ぐっ：落ち着け！
体の自由が奪われたとて
周りは雑魚ばかり！

ここは一度
魔力開放で強引に
態勢を立て直す！

まずは精神を
集中して…

…集中…

…しゅら…ちゅう…！

ビッパッ

ロロロ

ロロロ

ロロロ

ロロロ

↑

↑

だっ...だめだ!

敏感になつた
乳首とクリトリス
いじられながらでは
魔力の流れが乱れて...

くそ!このままでは
イカされる!
こんな雑魚どもに
獅子王ともあろう余が...

ビクッ

ククククク

ククッ

ビクッ





はあ...はあ...
ぐ...余としたことが
こんな雑魚相手に醜態を
晒してしまつとは...

はっ

はっ

はっ

はっ



あつ!!この...!!
調子に乗りおつて!

貴様らの勝手もそこまでだ!
余の怒りを買ったことを
存分に後悔させて...!!

ゴッ
キッ

グ
イッ
ズルルッ



余が：一度ならず
二度までも...

ビッ
ッ

は
あ

は
あ

ぐっ...はあ...はあ...
こんなの...

ビッ
ッ

グッ
ッ

ドッ
...



びびっ

うあっ!

よせ! まだ
抜いてはならん!

今... 抜かれたら...

ぐっ

くらくらっ
尻穴に大量に射精
されたせいで...

は...腹が...

ぶるる

ギョッ

ギョッ

グロ グロ
グロ...

イビ

ブルル

た...耐える!!
これ以上この雑魚どもの前で
痴態を晒すなど言語道断!!

こいつらを倒しきるまでは
絶対に...



余にこれほどの屈辱…
絶対に…許さんぞ…!!

は…は…は…は…は…
き…貴様ら…

は…は…は…は…は…

ぶ…る…る…る…

い…い…い…い…



ぐっぐっぐっ
解けん！まだ
四肢に力が入らぬか！

どうにかこの状況を
打開できぬものか……！

たぶん



ぐんぐんぐん
またまた腹が...

いや違う！
なんだこれは！
腹の中から
魔獣の気配が！

先ほど腹に注がれたとき
何か混ざっていたのか？

ぐんぐんぐん
ぐんぐんぐん
ぐんぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん



その何かが
余の腹の中で勝手に
魔力を喰らって成長し
用が済んだから
出てくたせよってのか…

ぶるっ

モコッ

ブルブル

はっ

はっ

おのれ！誰が
魔獣を排泄など
するものか！！
奪われた魔力も
返してもらおうぞ！



ヒューン
ヒューン
ヒューン

なつよせ
今はだめだ！

ひやうん

ヒューン

ハッ

ヒューン



はっ！はっ！はっ！
はっ！はっ！はっ！

ギューッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ

ホッ
ホッ
ホッ

ビクッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ

それっ！それだめ！
尻穴のしわ細かく
いじられたらっ！あっ！
カ！入らなくなるう！



調子に乗るな！

手足が使えずとも
貴様のごとき雑魚など
余の魔力で一息に……！

ぶるっ



はあーはあー
はあーはあー
はあーはあー
おのれえ

いやだー出でしまー
もうっ…限界い!

カリユ

ぐんぐん
ぐんぐん
ぐんぐん
ぐんぐん



はーっはーっ
ぐっぐっぐっぐっぐっぐっ
尻から触手を排泄して
イッてしまっなんて!

余の身体...
どんどんおかし...

はっ
はっ

ビッ
ビッ

イッ

ゴッ

たぶっ

ニユルッ



えい

今度はお尻を刺すぞ

胸に何か刺さるぞ

グッ

グッ



はーんあーん
むー胸が熱い！
妙な感覚がどんどん
膨れ上がって

何か…くるー
あーんあーん

ドクン

ドクン

ふーん
あーんあーん



ああああ!!
そんなんっ!!
余の胸が!!
こんな大き!!

ほっ
なんっ



ふんふん...
大きくなりなだせ...
すけ...張りの...
乳首も...
乳首も...
乳首も...

びゅん

ほあ

ほあ

じょん

まるで何かを
期待している
かのようだ...

ル...



つて...なにを
馬鹿なことを！
気をしっかり持て！

ビーン

くそ！貴様！
勝手に余の胸に
近寄るな！

ノロキ...

たぶーたぶー



はうん!!
よっよせ!
吸うな!

ビッ
ビッ

んんっ!
歯を立てながら
吸うのをやめろ!
こりこりするなあ!

んんっ...

せえええ

んん
んん
んん



ほりおん！
吸い付いたまま
舌を出し入れされて！

ケツ穴責めでまた
強制的に便意
催してしまうらう！

ズンズン
ズンズン

ビクッ

キーン

キーン

キーン
キーン
キーン



んああああ!!
やめえーはあん!

1"0 1"0
1"0 1"0

ぶるるっ
ケツ穴の奥
なめまわされたり
腹が!おっつぐ
腹が苦し〜

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ



ビュッ
ビュッ
ビュッ

おっおっおっ
乳首とねこねしながら
ケツ穴無茶苦茶さらたら！

またー体に力が
入らなくー！
くそーまた漏れるうー！

ズロ...

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ



おのれおのれ
今おのれおのれ
おのれおのれおのれ

余の魔力が...
こんな魔獣どもにも...

ピッ

ピッ

はっ

はっ

ピッ

ゴッ

ゴッ

たぶっ

ピッ

ピッ

ギッ

参ったな！
魔人さんとしたことが
捕まってしまったようだ

今はマスターとも
連絡がとれないから
自力で抜け出すしかないか



んあっ!?

ピクッ

びびっくりした！
なんだ？股間に
別の触手が…？

ギョ

1"

チビッ



んん…
何のつもりか
知らないが…

結構
気持ち悪いぞ…
離れろ！

くっ…腰を
押しでも引しても
押し付けてきて…
こんなもの…！

ギ
ッ

ギ
ッ

グ
イ
ッ

グ
イ
ッ





…な…
なんだ…今のは？
今まで感じたことのない

甘い痺れのような…
けれど…少し…
心地よいような…

ぴん

グ

ググ



あつ♡
これ…んっ

触手のイボイボに
アツコを擦りつけるの…

ぴんっ
ぴんっ

はっ
はっ

気持ち…いい…のか？
アツコが擦れるほどに
変な感じが大きくなって…
もっとな…したくなってくる…

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ



あつ...しまった...!
また新しい触手が...

今度は...乳首に...
何なんだ...さっきから
おかしいところばかり...

ヒョッ

ゴッ

ゴッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



んんんっ…これ…
だめだ！乳首を弄られると
さらに気持ちよさが
抑えられなくなる…！

こ…こんなことを
している場合ではないのだ…！
腰…止められない…ゆるるっ…

身体の奥から…
何かが…来てしまっ…！！





はあ...はあ...
何だったんだ...今のは...
気持ちよかったけど...

まずい...
体に力が...

はあ

はあ

ぷるん

たぷん

びん

びん





んあぁっ……!

ビクッ

ズ

ズ

ビクッ

ビクッ

ズ

ズ

はう……んん！
また……この感じだ……

アツコの方も……
さつきよりも
ずっと強い快感が……！
まずい……流される……！

こんなおぞましい触手に
乳首を吸われているのに
気持ちいいなんて……！



く…気をしつかり持て！
これ以上好きにさせて
たまるものか…！

魔人さんにかかれれば
このくらい力づくで…！

ギッ
ギッ

フッ
フッ

フッ
フッ

フッ
フッ

フッ
フッ

フッ
フッ

フッ
フッ

フッ
フッ



ひゃっ!!

ビッ
グッ
グッ

なんだりどこを弄って...?
だめだ!よくわからないが
そこはだめだ!

ビッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ





ビク ビク

んおおっ!
イクら……

グ

グ

ガッ

グ

ガッ

うえ~~~~んっ!
こんな数があるなんて
聞いてないっ!

なんで私が
こんな目に……!



ちゅちゅとー
変なところ
入っちゃうだ！

びんびん

うう...
近づかないでよ
気持ち悪い！

ずんずん

グ
グ
グ



んっんっ…ぢゅ!
く…苦し…!
気持ち悪い!

前後に激しく動いて
何のつもりよお!

しゅぶ!
しゅぶ!
ぐぼ
ぐぼ

イク

イク

こんななの…
ちよつと感触が嫌だけど
噛みついてやれば…!!
このっ…このお!

んっ!?

何?やだ!
おっぱいと回の中で
びくびく暴れて...

ハ
ビ
ク
ツ

レ
ク
ッ

ト
ク
ッ

グ
ク
ッ

しかも...
膨らんできている!!
ちよつと待って!
抜いて!抜いてよお!



くりくりの中
何かしらぼろ出てるう!!

びびび

びびび

びびび

びびび

びびび

びびび

びびび



はぁ...はぁ...
うん...うん...

ふっ...ぐす...
苦い...気持ちわるいの

はぁ

ドロ...

はぁ

ほんとに
なんなのよお...





あつ...やだ
おっぱいが!

びしょ

っ

だぞん

だぞん

ぐっ...また
気持ち悪いのが
寄ってきた...!

ゴ
ッ
ッ

これ以上何か
される前に
とりあえず脱出を...!

グ
ッ
ッ

あは...
ぐ

ずるる



いやああああん!

そ...そこはだめ!

びん
びん

おっぱいは
だめだってばあ!

おっぱい

ふん
ふん

はん
はん



あつん…いや…
おっぱいは弱いから！
あつあつ…！

ズンズン

ズンズン

そんなイボイボの
触手で揉みながら
吸っちゃだめえ…！

グググ

グググ

グググ

グググ





アツコ

今度はアツコに!?

ビッ
コ
ッ

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ

だめっ!!これだめ!
アツコ気持ちよく
させられながら
おっぱい乱暴に吸われたら...

あ...おっぱい...!!
おっぱい田中...!!
田中...!!

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル





おっばい
イッちゃう!

ビュッ
ビュッ
ビュッ

おっばい!

ハッ
ハッ
ハッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

んあつぽそんな！
いつたばかりなのに！
連続で吸われたら！

おっぱい
止まんなくなっちゃう！
また出ちゃう！

ガッガッ

ジュル

ジュル





ビュッビュッ

んひん!

キッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

んんいっしょー！
ちっ…乳首…
だめえ！

私が気持ちよく
なるほどおっぱいも
沢山出ちやうのバレてる！

ビグッ

ビグッ

ビビビビビ

グッグッ

私の弱いとき
いじめまくって…
こんなのためえ…！また…
またおっぱいイっちゃうらー！

ビビビ

グッグッ

ビビ

グッ

グッ

ビグッ

グッ





おっぱいびゅるびゅる
しながらまた
イツちやうらう!

んあつ...はぶん!
イクウ!

ビュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

